

2023年度事業報告

【ローテーション保育士雇用費の増額と時間単位での利用】

要望を提出していましたローテーション保育士雇用費の増額と、時間単位での利用が可能となりました。しかしながら、横浜市が最初に提出した案に欠陥が多くあったことから（一部の園で減額となってしまう等）再度、改善をお願いしております。令和6年4月1日時点で新しいシステムでの請求ができていない状態で、6月か7月の「過誤請求」での精算となります。新単価は最大で160時間413,200円となります。（自由民主党横浜市議員団に昨年8月『要望書』提出）

【一時保育】

昨年総会でお伝えしました「例えば、ローテーション保育士雇用が4時間、一時保育担当が4時間の保育士であっても、補助が出るようお願いしている」が、横浜市に受け入れられ、一時保育にも柔軟に担当保育士を設定できるようになりました。

【配慮児童の申請】

療育センターの受診には、手続きに時間がかかっていますが、こちらもローテーション保育士雇用費を利用する事が出来、担当保育士の配置を躊躇する事は無くなりました。

【こども園請求事務、雇用状況表の不備の改善】

こども園請求システム雇用状況表に不備があり改善をしております。0～2歳児において、子どもが一人少なくなりますと、逆に先生が一人必要になるという“バグ”（プログラム不具合）が放置されていました。改善は約束されていますが、ローテーション保育士雇用費同様、令和6年4月1日の改訂には間に合いませんでした。6月以降「過誤請求」にて訂正となります。

【キントーンによる事務業務効率化】

当初、キントーンで行う運営費請求事務作業は、画面レイアウトの見辛さから困難を極め、多くの事務職員から改善の要求が出されていました。そのシステムの構築は、保育所等の現場には合っていないもので、運営全体を見渡さなければならない施設長にとっても解読が困難なものでした。当会は昨年度当初直ちに改善を求め、保育園は9月、こども園は10月には以前の形式に戻すことができました。

（公明党、日本共産党、日本維新の会、各横浜市議員団へ昨年6月『要望書』提出）

【サブスク】

保護者にとっての子育て負担をどう軽減するか、こども青少年局と「サブスク」を実施している園の視察を行い、朝の「お支度」の簡素化や登園時の保護者の持ち物の軽減を話し合いました。今回の補助制度に大変生かされており、制度を利用された園の保護者から多くの感謝の声が届いています。

【学校ガイダンス】

保育士等職員確保に向け、養成校等との学校ガイダンスを今年度も執り行いました。2023年度のガイダンスでは、子どもたちの遊びの広がりを保育士と一緒に楽しんでいる保育の様子や、書類作成にかかる時間の短縮への取り組みを紹介しました。また、横浜では往還型の質の高い研修受講で、園全体の保育の質向上に取り組んでいることも伝え、就職先として横浜を選択していただけるような内容で行ないました。

【就職相談会】

保育士等確保対策の機会としては、2023年度も株式会社ネクストビート(保育士バンク!)と協力し、就職相談会を行いました。大変多くの学生の来場がありました。就職につながったケースも多くありました。参加費は、通常価格の25%を維持しております。今年度は6月30日(日)に就職相談会を開催予定です。

【2023年度 神奈川県保育士等エキスパート研修(キャリアアップ研修)】

2023年度はeラーニング(オンデマンド)とリモートシステムを活用し、本会主催で神奈川県保育士等エキスパート研修を実施しました。実施した分野は、「乳児保育」「幼児教育」「障害児保育」「食育・アレルギー対応」「保護者・子育て支援」の五分野です。各分野200名、計1,000人の研修を計画し、最終的に合計987名分の『修了証』交付ができました。大きな研修の機会になったことと思います。

【守ろう！保育園窓口】を設置

保育園こども園が、保護者、近隣等より身に覚えの無いクレームを受けてダメージを被らないよう相談窓口を設置しました。6件の相談を受け、それについては全ての園で不適切保育が行われていなかった事を確認しております。市長宛、市が開いた「不適切保育の窓口」宛に、通知を受けた際に一方的で過度の対応をしないよう『要望書』を昨年4月初旬に提出しております。

【園長先生人間ドック健康診断サービス】

会員園の園長先生対象に、大変リーズナブルな価格で人間ドック受診のサービスを開始いたしました。何よりも身体が資本です。是非、ご利用ください。

【ヨコハマバーン】

今年度は外部業者に委託して、中高校生向けの保育士職業紹介のパンフレットを制作いたしました。YouTubeでのショート動画も配信し多くのアクセスがありました。

【横浜市幼児教育推進委員会】

年2回行われている横浜市幼児教育推進委員会におきましては、幼保小連携を中心に様々な取り組みを行いました。

【子ども子育て会議保育・教育部会 児童福祉審議会保育部会】

内装整備費などの横浜市からの補助金使用の承認を行いました。

【よこはま☆保育・教育宣言運用協議会】

公開保育・園内研修の冊子が無事ウェブサイトでご覧いただけるようになりました。

*保育現場の声、現状をご理解、反映させるべく、各政党へ偏りなく『要望書』提出を行なっております。